



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月29日

上場会社名 株式会社 エヌ・ティ・ティ・データ・イントラマート

上場取引所 東

コード番号 3850 URL <http://www.intra-mart.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中山義人

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長 (氏名) 鈴木誠

TEL 03-5549-2823

四半期報告書提出予定日 平成26年1月31日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	3,008	31.8	46	△68.5	33	△77.8	15	△82.6
25年3月期第3四半期	2,283	△6.0	146	2.8	152	6.1	88	23.0

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 28百万円 (△64.4%) 25年3月期第3四半期 80百万円 (31.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	3.09	—
25年3月期第3四半期	17.79	—

(注) 平成25年4月1日付で、普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。
1株当たり四半期純利益の金額は、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	3,747	2,635	68.2	515.94
25年3月期	3,821	2,634	66.7	514.47

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 2,556百万円 25年3月期 2,549百万円

(注) 平成25年4月1日付で、普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。
1株当たり純資産の金額は、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	1,100.00	1,100.00
26年3月期	—	0.00	—		
26年3月期(予想)				2.50	2.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

平成25年4月1日付で、普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。平成25年3月期の配当につきましては、株式分割前の株式数を基準に配当額を算定しております。
配当予想の修正については、本日(平成26年1月29日)公表いたしました「配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,200	16.6	180	△51.5	150	△60.3	80	△64.2	16.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(平成26年1月29日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	4,955,000 株	25年3月期	4,955,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	— 株	25年3月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	4,955,000 株	25年3月期3Q	4,955,000 株

(注)平成25年4月1日付で、普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。期末発行済株式数(自己株式を含む)及び期中平均株式数(四半期累計)は、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信開示時点において、四半期財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性がありますのでご了承ください。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、政府の経済政策を背景とした円安・株高の進行により、企業収益や個人消費の改善により、生産や設備投資も緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、海外景気の下振れのリスクなどもあり、先行きは不透明な状況が続いております。

情報産業分野においては、クラウドコンピューティングやSaaSといった新規分野の拡大により、Webシステムの重要性は一層高まっており、企業の設備投資については徐々に改善の兆しが現れているものの、全般的には依然として慎重な姿勢が見られました。

このような情勢のもと、当社グループは、「①国内市場における確固たるプレゼンスの確立とグローバル展開の加速、②ビジネス中枢分野及びグローバルで通用するソリューションへのレベルアップ、③サービス事業全体のレベルアップと持続的な成長基盤の確立、④グループ経営のレベルアップと人材育成」を当期の重点方針として掲げ、業績の向上に努めてまいりました。

具体的には、「ビジネス中枢分野及びグローバルで通用するソリューションへのレベルアップ」として、経費・旅費精算/人事・総務ワークフローを活用し会計・人事領域業務をサポートするモバイル対応アプリケーション「intra-mart Accel Kaiden!」をリリースしました。

また、NTTコミュニケーションズ様に対して、BPM統合開発ツールである新製品「IM-BIS」とオープンソースのルールエンジン「OpenRules」を連携して導入することで、大幅なコストダウンに成功しました。今回の事例をきっかけとして、今後も利用範囲の拡大を目指していきます。

この結果、当社グループの平成26年3月期第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高3,008,678千円（前年同四半期比31.8%増）、営業利益46,316千円（前年同四半期比68.5%減）、経常利益33,737千円（前年同四半期比77.8%減）、四半期純利益15,301千円（前年同四半期比82.6%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

① パッケージ事業

「intra-mart」は、全国の特約店パートナーを通じて販売しており、昨年度より販売を開始した新製品やワークフローを中心とした新規案件については堅調に推移したものの、新製品のアプリケーション分野の品揃えに時間を要したため既存顧客への展開が遅れ、全般に低調に推移しました。

この結果、売上高は1,523,109千円（前年同四半期比5.0%増）となりました。

② サービス事業

「intra-mart」を利用したシステム開発やコンサルティングなどの周辺サービスは、為替の影響により子会社のオフショア案件等の受注が遅れが見られるものの、昨年度から手がけていた金融系の大型SI案件の受注や、期ずれした大型SI案件の売上等により、全般に好調に推移しました。

この結果、売上高は1,485,568千円（前年同四半期比78.3%増）となりました。

(当グループの四半期業績の特性について)

当社グループのパッケージ事業及びサービス事業（コンサルティング、システム開発等）は、一般企業を対象としており、事業年度を4月から3月までと定めている企業が多いため、システムの導入・検収が年度の節目である9月及び3月に集中する傾向があります。サービス事業の一部の売上高の計上基準については、工事進行基準を適用しておりますが、売上高の大半が工事完成基準（検収基準）である当社グループの業績にも季節的変動があり、売上高、利益とも第2、4四半期に集中する傾向があります。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

当第3四半期連結会計期間末における資産は、売掛金が減少したことにより、3,747,147千円となり、前連結会計年度末に比べ74,795千円、2.0%の減少となりました。

②負債

当第3四半期連結会計期間末における負債は、パッケージ事業の製品保守の未経過分である前受金が増加したものの、買掛金や法人税等の支払に伴い流動負債が減少したことにより、1,111,301千円となり、前連結会計年度末に比べ76,252千円、6.4%の減少となりました。

③純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、配当金の支払に伴い利益剰余金が減少したものの、為替換算調整勘定が増加したことにより、2,635,845千円となり、前連結会計年度末に比べ1,456千円、0.06%の増加となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年4月26日に公表した平成26年3月期（平成25年4月1日～平成26年3月31日）通期の連結業績予想を以下のとおり修正しております。当該業績予想の修正の詳細につきましては、本日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	4,500	540	540	307
今回修正予想 (B)	4,200	180	150	80
増減額 (B - A)	△300	△360	△390	△227
増減率 (%)	△6.7	△66.7	△72.2	△73.9
(ご参考) 前期実績 (平成25年3月期)	3,601	371	377	223

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,440,635	1,497,953
売掛金	751,825	378,061
たな卸資産	43,783	116,373
繰延税金資産	38,228	41,361
その他	107,091	166,489
貸倒引当金	△36	△31
流動資産合計	2,381,527	2,200,208
固定資産		
有形固定資産		
建物	35,812	35,812
減価償却累計額	△28,913	△30,597
建物(純額)	6,898	5,214
工具、器具及び備品	58,800	63,297
減価償却累計額	△38,232	△43,398
工具、器具及び備品(純額)	20,567	19,899
有形固定資産合計	27,466	25,114
無形固定資産		
ソフトウェア	977,167	989,046
ソフトウェア仮勘定	156,731	165,714
その他	72	72
無形固定資産合計	1,133,972	1,154,833
投資その他の資産		
投資有価証券	100,000	100,000
敷金及び保証金	108,353	188,392
繰延税金資産	70,396	78,191
その他	227	407
投資その他の資産合計	278,977	366,991
固定資産合計	1,440,416	1,546,939
資産合計	3,821,943	3,747,147

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	277,802	145,081
未払法人税等	88,970	3,822
前受金	481,764	597,496
賞与引当金	62,723	17,828
資産除去債務	1,492	1,498
その他	125,474	173,697
流動負債合計	1,038,227	939,423
固定負債		
退職給付引当金	149,252	171,878
その他	74	—
固定負債合計	149,327	171,878
負債合計	1,187,554	1,111,301
純資産の部		
株主資本		
資本金	738,756	738,756
資本剰余金	668,756	668,756
利益剰余金	1,146,406	1,134,455
株主資本合計	2,553,918	2,541,968
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△4,705	14,529
その他の包括利益累計額合計	△4,705	14,529
少数株主持分	85,175	79,348
純資産合計	2,634,388	2,635,845
負債純資産合計	3,821,943	3,747,147

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	2,283,301	3,008,678
売上原価	1,185,804	1,914,977
売上総利益	1,097,496	1,093,700
販売費及び一般管理費	950,510	1,047,384
営業利益	146,986	46,316
営業外収益		
受取利息	266	89
協賛金収入	5,800	4,500
補助金収入	1,097	1,398
その他	801	777
営業外収益合計	7,964	6,765
営業外費用		
為替差損	2,422	19,318
その他	365	26
営業外費用合計	2,787	19,344
経常利益	152,163	33,737
税金等調整前四半期純利益	152,163	33,737
法人税等	71,796	37,086
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	80,367	△3,348
少数株主損失(△)	△7,797	△18,650
四半期純利益	88,164	15,301
少数株主損失(△)	△7,797	△18,650
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	80,367	△3,348
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	325	32,058
その他の包括利益合計	325	32,058
四半期包括利益	80,692	28,709
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	88,360	34,536
少数株主に係る四半期包括利益	△7,667	△5,827

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	パッケージ事業	サービス事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	1,450,066	833,234	2,283,301
セグメント間の内部売上高又は振替高	22,980	91,360	114,341
計	1,473,047	924,595	2,397,643
セグメント利益又はセグメント損失(△)	517,613	△58,010	459,603

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	459,603
セグメント間取引消去	△9,220
全社費用(注)	△303,395
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	146,986

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	パッケージ事業	サービス事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	1,523,109	1,485,568	3,008,678
セグメント間の内部売上高又は振替高	21,650	59,690	81,341
計	1,544,760	1,545,258	3,090,019
セグメント利益又はセグメント損失(△)	354,300	△23,261	331,038

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	331,038
セグメント間取引消去	△7,642
全社費用(注)	△277,080
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	46,316

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。